

目標

- 神経診察・解剖学的診断のスキルアップ
- POS, CQ, 文献検索, 患者さんへの対応の完全マスター

神経内科外来での多数症例の経験 具体的な実習方法

- Student physician として, 主治医チームに配属する. チームの一員 (主治医) として診療に積極的に加わってほしい.
- 担当患者さんのみでなく, チームの症例について朝のカンファレンスで, 新入院症例および継続入院症例のプレゼンを積極的に行なう. また神経診察をどんどん行なう.
- 朝のカンファレンスや回診では質問をする. 指導医にも毎日最低1度はコンタクトをとり指導を受ける.
- 指導医や外来初診医の外来診察に積極的に同席する.
- 神経内科の検査 (髄液穿刺, 電気生理検査, 嚥下機能検査, 筋生検, 神経生検など) に参加する (指導医に毎日確認する).
- 採血や髄液検査も主治医とともに行う (主治医が事前に評価し, 手順を十分に理解していると判断した場合に限る).
- 実習期間中にジャーナルクラブ (抄読会) での発表を1回行う.
- 予定が合えば, 神経学会など学会にも参加する (学会によっては交通費支給等あり).